

化粧品中のタンパク加水分解物の安全性に関する特別委員会報告

第8回(第12回) 化粧品中のタンパク加水分解物の安全性に関する特別委員会

日時: 2015年4月11日(土) 12:00~14:30

場所: 名鉄グランドホテル 蘭の間

出席者: 委員・理事 12名、陪席 5名

松永佳世子委員長、相原道子副委員長、池澤善郎、板垣康治、杉浦伸一、田中宏幸、千貫祐子、手島玲子、野口恵美子、福富友馬、矢上晶子 各委員、斎藤博久 担当理事

オブザーバー: 中村政志(藤田保健衛生大学)、佐々木和実(製品評価技術基盤機構)

川本典生(岐阜大学:加藤委員代理)、入野俊治、上田創平(岐阜薬科大学)

欠席者: 宇理須厚雄、加藤善一郎、岸川禮子、澤 充、秀 道広、福島敦樹、森田栄伸 各委員

議事概要

1. 委員からの研究報告

- 1) 田中委員から「マウスを用いた加水分解コムギ末に対する皮膚感作性試験」について、研究報告が行われた。

①GP19Sに結合する特異的IgE抗体産生能(ELISA)

②経皮感作による総IgE抗体産生能(同一タンパク質量(10 μ g/site)で感作した場合)

今後の検討課題

特異IgE抗体産生の検討

- 2) 野口委員から「経皮感作によるグルパール19Sアレルギーの遺伝要因の解明:全ゲノム関連解析の中間報告」が報告された。

2. 特別委員会終了に向けての準備

- 1) 5月31日市民公開講座の内容の確認(予演会と討論)

市民公開講座プログラムに従い、各演者より講演内容の概要が報告された。

・開会に寄せて(5分) 斎藤理事長より、委員会発足について経緯等説明を行う。

(1) 加水分解コムギ末によるアレルギーはどんな特徴があったの? (15分) 福富委員

(2) 加水分解コムギ末によるコムギアレルギーの経過全国調査からわかったこと (15分)
矢上委員

(3) “患者さんのその後”と“治りにくい患者さんのための試み” (15分) 千貫委員

(4) 加水分解コムギ末の抗原解析からわかったこと:今後の対策 (15分) 手島委員

- 広報について：市民公開講座ポスター、配布先を確認。
学会 Web サイトに掲載。

http://www.jsaweb.jp/modules/other/index.php?content_id=32

- 取材用のQ&Aについて：基本的に了承、今後必要があれば追加する。

- 2) 活動報告の作成：一般向け、医師向けリーフレット、学会誌への「委員会報告」作成準備
たたき台を委員長が提案、委員の意見を徴し、まとめていく。
医師向けはWeb サイトに掲載、ダウンロード出来るようにする考えである。

3) 最終委員会

本特別委員会は2015年5月31日市民公開講座をもって閉じることになる。

最終委員会は、5月28日第64回日本アレルギー学会学術大会時に開催、最終打ち合わせを行う。

以上